

スタートアップガイド

2018年3月4日版
GXA-026965-001-03

日本電気株式会社
東京都港区芝5-7-1

GXA-026965-001-03

本装置を安全に正しく使用するために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときに参照できるよう、お手元において置くようにしてください。本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。本書は大切に保管してください。

安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷 ^{※1} を負うおそれがあることを示します。
	注意	人が軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される内容、および物的損害 ^{※3} のみの発生が想定される内容を示しています。

- ※1. 重傷: 失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。
- ※2. 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
- ※3. 物的損害: 家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

本書および警告ラベルで使用する警告図記号とその内容

行為の禁止

	分解禁止 本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水ぬれ禁止 水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	接触禁止 指定された場所には触れないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		ぬれ手禁止 ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	火気禁止 火を近づけないでください。発火するおそれがあります。		一般禁止 特定しない一般的な禁止を示します。

注意の喚起

	発火注意 発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電注意 感電のおそれがあることを示します。
	高温注意 高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		破裂注意 爆発または破裂のおそれがあることを示します。

行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜け 本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		一般指示 指示に基づく行為を強制します。
--	--	--	--------------------------------

その他のマーク

	手順を進めるときに重要なことがらを示します。
--	------------------------

安全上のご注意

全体的な注意事項

	警告
	煙や異臭、異音がしたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

注意

	高温注意 使用中は筐体が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。長時間にわたり直接触れないでください。
	装置内に水や異物を入れない 本装置内に水などの液体、通気孔などのすきまから金属片や針金、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告

	屋内で使用する 屋内専用です。屋外で使用すると、雨水などがかかり、感電や故障の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
	指定のコンセントに差し込む 指定された電圧のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や感電の原因となります。
	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となります。
	電源コードを持って引き抜かない 電源コードを抜くときは電源プラグ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。電源コード部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりすると電源コード部分が破損し、火災や感電の原因となります。
	確実に差し込む 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となります。
	添付のACアダプタを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードやACアダプタは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使わないでください。火災や感電の原因となります。
	指定の電源コードを使う 電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ● 電源コード部分を引っ張らない。 ● 電源コードを折り曲げない。 ● 電源コードをねじらない。 ● 電源コードを束ねない。 ● 電源コードをステープラなどで固定しない。 ● 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

ACアダプタに関する注意事項

警告

	指定のACアダプタを使う 本装置に添付されているACアダプタを使用してください。指定のACアダプタ以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
	分解、改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。感電の原因となります。
	高温注意 使用中、表面が熱くなることがあります。やけどなどの原因となりますので注意してください。
	落下させたり衝撃を与えたりしない 火災、感電、故障の原因となります。
	水のかかるところでは使用しない 感電、故障の原因となります。
	紙や布などで絶対に覆わない 火災、故障の原因となります。

	指定の電源コードを使う 本装置に添付されている電源コードを使用してください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となります。
	添付の電源コードを他の装置に使用しない 添付の電源コードやACアダプタは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使わないでください。火災や感電の原因となります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

警告

	延長コードが必要となるような場所には設置しない 本装置の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
	確実に取り付ける インタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となります。
	指定の場所に設置・使用・保管する 本装置を次に示すような場所に置かないでください。火災や故障の原因となります。 ● ほこりの多い場所。 ● 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ● 不安定な場所。 ● 直射日光が当たる場所。 ● 夏季の締め切った自動車内
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、故障および火災の原因となります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
	急激な温度変化環境で開梱または使用しない 本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火の原因となります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開梱または使用してください。
	電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を切っても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
	指定されているインタフェースケーブルで接続する インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ● 破損したケーブルコネクタを使用しない。 ● ケーブルを踏まない。 ● ケーブルの上にものを載せない。 ● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告

	リチウム電池を取り外さない 本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発する原因となります。また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本装置の取り付け/取り外しは、本装置および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となります。

注意



高温注意

本装置の電源を切った直後は、高温になっていることがあります。十分にさめたことを確認してから本装置の取り付け/取り外しを行ってください。

運用中の注意事項

警告



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電の原因となります。



ペットを近づけない

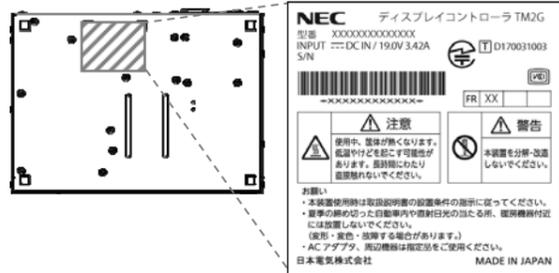
本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。



警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

装置 (裏面)



ACアダプタ



警告



分解、改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。感電の原因となります。



高温注意

使用中、表面が熱くなることがあります。やけどなどの原因となりますので注意してください。

航空・海上輸送について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本装置を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

高調波電流規制について

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品^{※1}です。

※1. 消費電力75W以下のため適合します。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

取り扱い上のご注意

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因となります。

- 本装置の取り付け/取り外しや周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源が切れていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 本装置の電源を一度切り、再び入れるときは10秒以上経過してから行ってください。
- 乾いた布でほこりやゴミをよくふき取るなどして、定期的に本装置を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 本装置は、容易に取り外しできるコンセントについてください。
- お客様による本装置の解体および改造を行った場合は、保証の対象外となります。
- 本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計(装置内蔵の時計)の確認・調整をしてください。装置のOS、BIOSから調整(設定変更)ができます。
 - ・ 本装置の輸送後
 - ・ 本装置の保管後
 - ・ 本装置およびディスプレイの動作を保証する環境条件から外れた条件下で休止状態にした後
- システム時計(装置内蔵の時計)は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。
- 本装置を使用、または保管する場合は、以下の環境条件を守ってください。

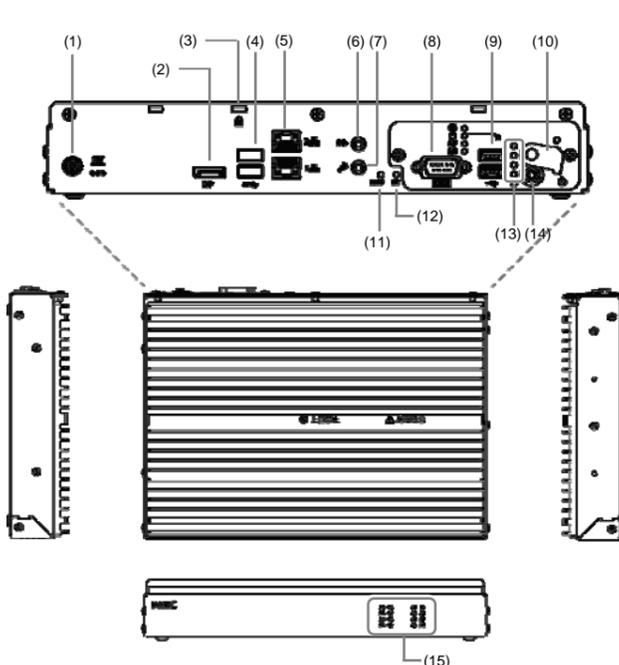
使用環境	温度: 0~40°C ※1
	湿度: 20~80% (非結露) ※2
保管環境	温度: -20~60°C ※1
	湿度: 10~90% (非結露) ※2
設置方法	平置き
電源	AC入力: 100V DC入力: 19V ±5%

- ※1. 記載の設置環境条件下での連続運転を保証するものではありません。周囲温度0°C以下および50°C以上の所で保存される場合、本体内の時計が極端にずれる場合がありますので使用する際に再設定を行ってください。
- ※2. 高温から低温など温度差のある環境間を移動させる場合、結露が発生しやすくなりますのでご注意ください。

- 本装置のそばでは、携帯電話、PHS、タブレット端末などの電源を切ってください。電波による誤動作の原因となります。
- 夏季の締め切った自動車内や直射日光の当たる所、暖房機器付近には放置しないでください。変形、変色、故障する場合があります。
- 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなります。

各部の名称と機能

装置外観図



名称	機能
(1) 電源コネクタ	添付のACアダプタの電源プラグを接続します。
(2) ディスプレイポートコネクタ	ディスプレイポートインタフェースを持つ機器と接続します。
(3) 盗難防止用ロック	盗難防止のために市販のセキュリティケーブルを接続します。
(4) USBコネクタ	USB3.0対応のインタフェースを持つ装置と接続します。
(5) 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T コネクタ (LANコネクタ)	LAN上のネットワークシステムと接続します。 LINK/ACCESSランプ LANポートのアクセス状態を示します。 LINKのみ: 緑色(点灯) 送受信時: 緑色(点滅) SPEEDランプ LANポートの転送速度を示します。 1000BASE-Tで動作時: 橙色(点灯) 100BASE-TXで動作時: 緑色(点灯) 10BASE-Tで動作時: 消灯 下側のコネクタはWake ON LANをサポートしています。
(6) ラインアウトコネクタ	ラインイン端子を持つ機器(オーディオ機器など)と接続します。
(7) マイクインコネクタ	マイクと接続します。
(8) シリアルポートコネクタ	シリアルインタフェースを持つ装置と接続します。
(9) USBコネクタ	USB2.0対応のインタフェースを持つ装置と接続します。
(10) 電源スイッチカバー	電源スイッチのカバーです。
(11) メモリダンプスイッチ	メモリダンプする場合のスイッチです。保守時に使用します。
(12) リセットスイッチ	本装置の電源を強制的に再起動するスイッチです。
(13) LEDランプ	● 電源の状態を示します。 ON 緑色(点灯) OFF 消灯 スリープ 消灯 ■ ディスクアクセスの状態を示します。 S7 消灯 S8 消灯
(14) 電源スイッチ	本装置の電源をON/OFFするスイッチです。一度押すと電源ランプが点灯し、電源が入ります(ONの状態)。もう一度押すと電源が切れます(OFFの状態)。電源を一度切り、再び入れるときは10秒以上経過してから行ってください。
(15) LEDランプ	● 電源の状態を示します。 ON 緑色(点灯) OFF 消灯 スリープ 消灯 ■ ディスクアクセスの状態を示します。 S1~S6 保守時に使用します。

添付品の確認



- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

構成表を参照して、すべてがそろっていることを確認しそれぞれ点検してください。万が一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店または保守サービス会社に連絡してください。

<構成表>

番号	品名	数量	備考
1	本体 (1台)	6	保証書 (1部)
2	ACアダプタ (1個)	7	使用許諾書 (1部) ※
3	電源コード (1本)	8	リカバリーディスク (DVD-ROM) (1枚) ※
4	電源コードクランプ (1本)	9	DP-DVIケーブル (1本) ※
5	スタートアップガイド (本書) (1部)	10	キャップ (本体に装着済み) USBコネクタ用 (4個) ディスプレイポートコネクタ用 (1個) シリアルポートコネクタ用 (1個) LANコネクタ用 (1個)

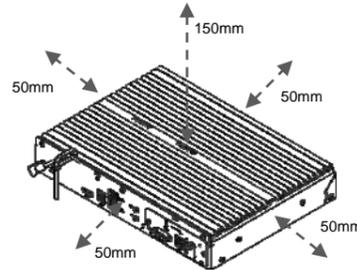
※型番によって添付されない場合があります。

設置条件

本装置を設置するときには、本体の天面に150mm、前後左右に50mm以上のスペースを確保してください。設置するときは、本体をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置場所に置いてください。



- 本体の設置は電源が切れた状態で行ってください。
- 本装置に衝撃を加えないようにていねいに取り扱いってください。
- 本装置の上にものを置かないでください。



設置と接続

OSの初回起動時には、セットアップ(ドライブレターの設定)を行います。



- OSの初回起動時は、本装置にUSBキーボードとマウスを接続しておいてください。
- キーボードとマウスは本装置に添付されていません。お客様で用意してください。
- セットアップを完了するまでは、キーボードやマウス以外の周辺機器(外付けドライブ等)を接続しないでください。
- OSの初回起動時は、次のセットアップ画面が表示されます。必要な情報をあらかじめ確認しておくことをお勧めします。
 1. 言語の選択画面
 2. 国または地域、時刻と通貨の形式、キーボードレイアウトの入力画面
 3. コンピュータ名の入力画面
 4. OSのライセンス条項への同意画面
 5. コンピュータ保護の設定画面
 6. 日付と時刻、タイムゾーンの設定画面

Step 1 インタフェースケーブルを接続する

インタフェースケーブルを本装置(背面)にあるコネクタに接続します。コネクタに付いているキャップは必要に応じて外してください。

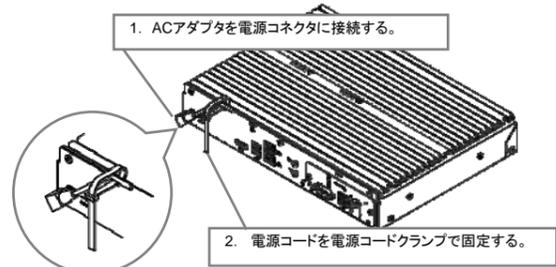


Step 2 電源コードを接続する



- 添付のACアダプタおよび電源コード以外のものを使用しないでください。本装置の故障の原因となります。
- ACアダプタおよび電源コードが破損した場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ACアダプタを本装置の電源コネクタに接続するときには、電源コード抜け防止のため電源コードクランプで電源コードを固定してください。

1. 添付のACアダプタを本装置の電源コネクタに接続します。
2. 電源コードクランプで固定します。
3. 添付の電源コードをACアダプタに接続します。
4. 電源コードのもう一方のプラグをコンセントに接続してください。



Step 3 電源を入れる

電源カバーを上げて電源スイッチを押してください。
本体前面と背面のLEDランプ(電源)が、緑色(点灯)になります。



- 電源を入れた後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容をメモして販売店または保守サービス会社に連絡してください。

- POSTおよびシステムBIOSのSetup実行中は、USBデバイスの挿抜を行わないでください。



電源スイッチ

初回起動時のみ、下記のBIOSとOSの設定を行ってください。
装置の構成やシステムの用途に応じてシステムBIOSの設定を行います。
ディスプレイ装置の画面下に次のメッセージが表示されます。

Press <F2> SETUP, <F7> BOOT Menu

- システムBIOSの設定値を変更する場合は、<F2>キーを押します。設定値を変更する必要がない場合は、「3. OS(Operating System)の初期設定を行います。」に進んでください。
- システムBIOSのSetup Menuが起動します。
- OS(Operating System)の初期設定を行います。
- 画面に従って設定してください。

Step 4 電源を切る

電源を切るときは、電源スイッチを押してください。
または、OS(Operating System)から「シャットダウン」を行ってください。



- シャットダウン後に再度電源を入れる場合は、10秒以上経過してから、装置背面にある電源スイッチを押してください。

- 異常が発生し電源が切れない場合は、電源スイッチを長押ししてください。(5秒以上)

OS・ソフトウェアに関する注意事項

本装置にプリインストールしているWindows 10 IoT Enterprise 2016 LTSB Value（以下、OSと略）にはライセンス上および運用上の注意事項があります。使用する際は注意事項を良く理解した上で使用してください。

1. ライセンス上の注意事項

OSライセンスでは、必ず組み込みアプリケーションをインストールして使用しなければなりません。組み込みアプリケーションプログラムの変更が必要な場合は、お客様とNECでSler契約の締結が必要です。なお、本装置に別途添付される「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に記載される項目に該当する場合は、Sler契約の必要はありません。原子力施設、航空関係、医療機器等、誤動作により生命や健康に被害が想定される用途への使用はできません。

2. 運用上の注意事項

2.1 周辺機器、ユーザアプリケーションの動作について
OSでは、OSのカスタマイズにより搭載するコンポーネントを絞り込んでいるため、一般のWindows で動作する周辺機器やアプリケーションが動作しない場合があります。詳しくは販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

2.2 ディスプレイの解像度設定について
OSでは同じ製品のディスプレイであっても、シリアルナンバーが異なるディスプレイに接続すると解像度などが反映されない仕様です。詳しくは[3.モニタ識別について]の項目を参照してください。

2.3 言語選択についての注意事項
工場出荷後の初回起動時に言語選択画面が表示されます。ここで選択した言語は後で変更することができないのでご注意ください。変更が必要な場合は、リカバリーディスクを用いてシステムを初期化し工場出荷時の状態に戻すことにより、再度言語選択をすることができます。

3. モニタ識別について

OSでは接続されたディスプレイの固有情報、シリアルナンバー等(EDID)を基に解像度設定を行います。そのため、同じ製品のディスプレイであっても、シリアルナンバー等が違うディスプレイに初めて接続した際に解像度設定が変わる場合があります。その場合は再度、解像度設定してください。そのディスプレイにおける設定情報が本装置に記録されるので、その後は再設定する必要はありません。なお、UWFを有効にしている場合、解像度設定が反映されない場合があります。詳しくは[Unified Write Filter(UWF)について]の項目を参照してください。

4. セキュリティ対策について

- 本装置にWindows 用のサービスパックは適用できません。出荷後のOS のアップデートはお客様責任によるご自身での対応になります。必ず事前に実機で十分な動作確認をしてください。
- UWFの適用により、OSのファイルが改変された場合でも再起動を行うことにより元の状態に戻すことができますが、シャットダウンまでの間はファイルが改変されたのと同じ状態になりますのでご注意ください。

5. 4K動画再生について

Windows Media Playerは4K動画再生の動作保証をしていません。動画再生を行う場合は、動画再生ソフトをお客様で用意していただき、事前検証を行ってください。

Unified Write Filter(UWF)について

1. Unified Write Filter(以下 UWFと略)について

OSモデルでは、予期せぬ電源断への対策として、OSのシステム領域の保護を行うためにRAM Overlay Type (RAM Reg モード)のUWF機能を採用しています。UWFの詳細については、下記サイトもしくはその後継サイトを参照してください。

UWFについて:
https://docs.microsoft.com/ja-jp/windows-hardware/customize/enterprise/unified-write-filter

Windows 10にてUWFの機能をインストールし有効化できます。

1.1 機能のインストール
以下の手順にて機能をインストールしてください。

- [コントロール パネル]から[プログラムと機能]を選択します。
- [Windows の機能の有効化または無効化]を選択します。
- [デバイスのロックダウン]から[統合書き込みフィルター]を選択して、[OK]を選択します。
- ウィザードに従い、インストール処理を進めます。
- [統合書き込みフィルター] (Unified Write Filter) の導入は完了です。

1.2 設定の変更(フィルター)(管理者権限にて実施)

- フィルターの有効化
以下のコマンドを実施した後、システムを再起動してください。
>uwfmgr.exe filter enable

- フィルターの無効化
以下のコマンドを実施した後、システムを再起動してください。
>uwfmgr.exe filter disable

1.3 設定の変更(管理者権限にて実施)

設定の変更を行う場合は、一度フィルターを無効にしてから設定変更を行い、再度有効化を実施してください。
以下のコマンドを実施した後、設定変更を有効にするにはシステムを再起動してください。

- 設定値の確認コマンド
現在構成中の設定情報を確認することが可能です。
>uwfmgr.exe get-config

- 該当ボリュームの保護の有効化
以下のコマンドを実施した後、設定変更を有効にするにはシステムを再起動してください。
>uwfmgr.exe volume protect <ドライブレター>

- Cドライブのプロテクトを有効に設定する場合
>uwfmgr.exe volume protect c:

- ファイルの除外設定
以下のコマンドを実施した後、設定変更を有効にするにはシステムを再起動してください。
>uwfmgr.exe file add-exclusion <除外するファイルパス>

- C:\Temp¥Setting.ini.txt ファイルを除外する場合
>uwfmgr.exe file add-exclusion C:\Temp¥Setting.ini.txt

- C:\Temp1¥ フォルダを除外する場合
>uwfmgr.exe file add-exclusion C:\Temp1

- レジストリの除外設定
以下のコマンドを実施した後、設定変更を有効にするにはシステムを再起動してください。
>uwfmgr.exe registry add-exclusion <除外するレジストリパス>

- //HKLM¥Software¥Microsoft¥Windows¥run を除外する場合
>uwfmgr.exe registry add-exclusion HKLM¥Software¥Microsoft¥Windows¥run

2. UWFを利用する際の注意事項

- 保護対象のボリュームに対して何らかの変更を加える場合(ドライブやアプリケーション等のインストールなどシステムに変更を加える場合も含む)は、必ずUWF を無効にしてから変更を加えてください。UWFが有効の状態でも変更を加えても、再起動するとその変更はすべて破棄されます。
- UWFのRAMリソースを使い果たすと、システムが正常に動作しなくなることがあります。この場合は再起動を行ってください。特に、保護が有効になっているボリュームに対してアプリケーションからの頻繁な書き込み等を行うとメモリ枯渇の原因となるため、不要な書き込みが発生しないようにしてください。
- UWFの利用可能なRAMリソースを確認するには、[タスクマネージャー]→[パフォーマンス]タブの [物理メモリ]→[利用可能]の値を参照してください。
- UWFで保護されたボリュームをダイナミックディスクにしないでください。
- UWFで保護されたボリュームのファイルシステムがNTFSの場合は、NTFSの圧縮はしないでください。
- UWFは機器やファイルの破損を100%防止する機能ではありません。

ダンプ採取の設定

障害調査用のデバッグ情報を採取するための設定が可能です。本設定はUWFと併用しないでください。UWFと併用するとメモリ枯渇状態になり、本装置が正しく動作しなくなることがあります。

<メモリダンプを採取する設定に変更する手順>

- UWFが有効の場合は無効にします。
- 仮想メモリを設定します。ページングファイルのサイズはメモリ容量+300MBとしてください。
- [デバッグ情報の書き込み]の設定をドロップダウンリストから[完全メモリダンプ]に変更します。
- 再起動します。
- 再起動が完了するとメモリダンプを採取する設定が有効になります。

本設定の後に障害が発生し、メモリダンプを保存するために再起動した場合、起動時に仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますがそのまま起動してください。起動し直すとメモリダンプを正しく保存できない場合があります。

日常の保守

バックアップ

本装置内の大切なデータは、市販のバックアップツールなどを利用して定期的にバックアップすることをお勧めします。バックアップに必要な装置や条件などについてはバックアップツールの説明書などを参照してください。

再セットアップ

本装置は、添付のリカバリーディスク(DVD-ROM)を用いて、工場出荷時の状態に戻すことができます。
本装置にUSB接続可能なDVD-ROMドライブとキーボードを用意してください。



- 本装置に添付するリカバリーディスク(DVD-ROM)には、アプリケーションは含まれていません。
- アプリケーションの再セットアップは、お客様の責任において行ってください。
- DVD-ROMドライブとキーボードは本装置に添付されていません。お客様で用意してください。

<再セットアップの手順>

- DVD-ROMドライブ、キーボードを本装置に接続し、リカバリーディスク(DVD-ROM)をセットします。
- 本装置の電源を入れます。
- 「Press any Key to boot from CD or DVD... 」と表示されている間にEnterキーを押します。
- 「OSのリカバリーを開始します。」と表示されたら[OK]を選択します。
- 「リカバリーが完了しました。」と表示されたら、リカバリーDVDを取り出し[OK]を選択します。
- 「本機を再起動します。」と表示されたら、[OK]を選択します。
- 再起動が完了すると再セットアップ終了です。

製品の譲渡と廃棄について

本装置を譲渡または廃棄する際は、本装置に内蔵されているSSDIに保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されていないようお客様の責任において確実に処分してください。

第三者への譲渡について

本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントも一緒にお渡しいください。

消耗品・本体装置の廃棄について

本装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源コードやACアダプタにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本装置と一緒に破壊してください。
本体に搭載されているリチウム電池の廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

トラブルシューティング

症状	対策
解像度を変更したのに戻ってしまう	UWFが有効になっていませんか？ <p>UWFが有効な状態で解像度を変更し、システムを再起動した場合、変更内容が破棄されて解像度が変更前の状態に戻ってしまいます。UWFを無効にした状態で解像度設定をしてください。異なるディスプレイに接続していませんか？ 「OS・ソフトウェアに関する注意事項」の[3.モニタ識別について]を確認してください。</p>
背面にあるディスプレイのコネクタ形状が合わない	背面に設けた1つのディスプレイポートから映像信号を出力することができます。ディスプレイポートがないディスプレイと本装置を接続する場合は変換ケーブルを使うことにより接続できる場合があります。 変換ケーブルには一般的に以下のような種類があります。 DP→HDMI 変換ケーブル DP→DVI→D 変換ケーブル DP→VGA 変換ケーブル 添付されていない種類のケーブルは、お客様にてご購入ください。
内蔵ディスクへの書き込みを制限したい	[Unified Write Filter(UWF)について]の項を参照してください。
デバッグ情報(メモリダンプ)を取得したい	本装置の初期設定ではデバッグ情報 (メモリダンプ) は取得しません。 [ダンプ採取の設定] の項を参照して、デバッグ情報を採取する設定に変更してください。
周辺機器が動作しない	OSのカスタマイズが必要になります。(有償) 詳しくは販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。ただし、周辺機器の種類によっては、対応できない場合もあります。

商標について

Windows 、Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSB Value は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店または保守サービス会社へご連絡ください。
- 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求に関しましては、(1)に関わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器としての使用またはこれらに組みこんでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- マイナンバー(個人番号)情報がストレージに含まれる場合は修理・調査を受けられません。

© NEC Corporation 2018

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
このマニュアルは再生紙を使用しております。

ライセンス通知

本装置の一部（システムBIOS）には下記ライセンスのオープンソースソフトウェアが含まれています。
EDK/EDKII
UEFI Network Stack II and iSCSI
AMI Crypto Library using WPA Suppllicant
UEFI Shell

ライセンス文

EDK/EDKII

BSD License from Intel
Copyright (c) 2012, Intel Corporation
All rights reserved.
Copyright (c) 2004, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

UEFI NETWORK STACK II and iSCSI

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org)"
- The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
- Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
- Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

AMI CRYPTO LIBRARY USING WPA SUPPLICANT
WPA Suppllicant

Copyright (c) 2003-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.
This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).
If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.
License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

UEFI SHELL

Copyright (c) 2012, Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.